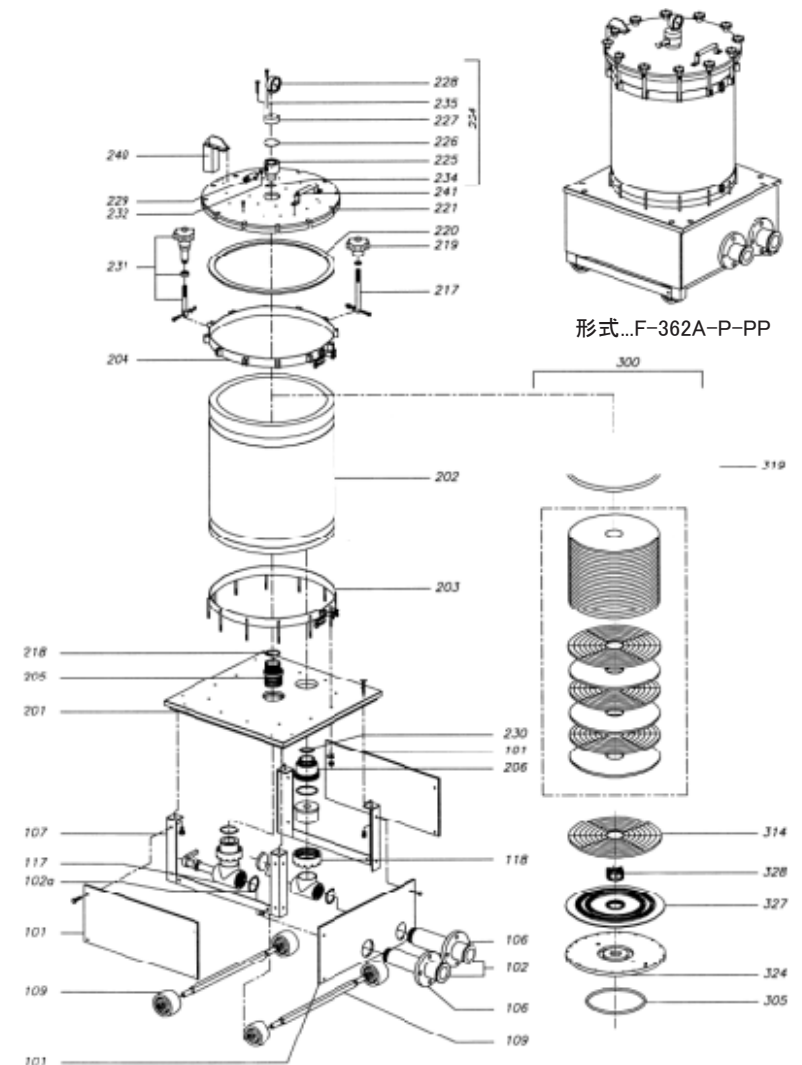


3. 部品リスト #F-362A-K(S)-PP

フィルターチャンバー#F-362		部品番号	F-362A-K-PP	F-362A-K-S-PP
40	ろ材タンク式	9011500700081 *		1 *
101 *	フレーム	9063500700075 *		1 *
101 *	フレームPP	9011500700064 *	1 *	*
102 *	フロントパネル吐出一式	9011500700090 *		1 *
102 *	吐出管	9011500700014 *	1 *	*
103 *	サイドパネル	9011500700091 *	1 *	1 *
106 *	フランジDIN	9011657063001 *	2 *	*
107 *	サポート一式	9063500700008 *	1 *	*
107 *	サポート	9063500700076 *		1 *
108 *	車輪一式	9063500700006 *	2 *	*
108 *	サポート	9063500700086 *		1 *
109 *	移動用車輪	901262910020 *	4 *	4 *
110 *	フレーム	9063500700087 *		1 *
111 *	モーター取付版	9011500700078 *		1 *
112 *	ろ材タンク取付版	9011500700088 *		1 *
113 *	ろ材タンク支持部材	9063500700089 *		1 *
117 *	T部吐出+ドレン	9011500700063 *	1 *	1 *
118 *	入ロケット+ユニオン	9011500700062 *	1 *	1 *
201A *	ろ過塔取付版	9011500700304 *	1 *	1 *
201B *	ろ過塔取付版	9063500700301 *	1 *	1 *
202 *	ろ過塔取付版	9011500700010 *	1 *	1 *
203 *	底部リング	9063500700308 *	1 *	1 *
204 *	頂部リング	9063500700309 *	1 *	1 *
205 *	吐出継手	9011700000105 *	1 *	1 *
206 *	吸入継手	9011700000053 *	1 *	1 *
217 *	ロッド一式	9063500900086 *	10 *	10 *
218 *	シール	9031402001007 *	1 *	1 *
219 *	十字ノブ	9011626012001 *	10 *	10 *
220 *	シール	9031402001005 *	1 *	1 *
221 *	PP/ステンレスカバー蓋	9011500700065 *	1 *	1 *
224 *	圧力計一式	9011500900094 *	1 *	1 *
225 *	圧力計ハウジング	9011500900007 *	1 *	1 *
226 *	圧力計メンブレン	9031500900304 *	1 *	1 *
227 *	圧力計カバー	9011500900075 *	1 *	1 *
228 *	ステンレスゲージ0.25気圧	9063650000004 *	1 *	1 *
229 *	バルブ一式	9011500900018 *	1 *	1 *
230 *	Oリング	90431236003 *	1 *	1 *
231 *	ヒンジ一式	9063500700066 *	1 *	1 *
232 *	ドレン弁Oリング	90431016350 *	1 *	1 *
234 *	圧カハウジングOリング	90431220003 *	1 *	1 *
235 *	圧力計Oリング	90431005300 *	1 *	1 *
240 *	スぺーサー	9011500700067 *	1 *	1 *
241 *	グリップ	9063500700068 *	1 *	1 *
301 *	ノブカートリッジ棒	9011500900309 *	36 *	36 *
302 *	巻式フィルターカートリッジ(オプション)	4411WW20P010 *	36 *	36 *
303 *	カートリッジ棒	9011500900308 *	72 *	72 *
304 *	底部圧力板	9011500700315 *	1 *	1 *
305 *	シールリング	9031402001008 *	1 *	1 *
306 *	20インチカートリッジ用PP継手	9011500900028 *	36 *	36 *

2. 分解図



部品ご注文の際には、チャンバー型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

3. 部品リスト #F-362A-P(S)-PP

フィルターチャンバー #F-362

参照番号	部品名	部品番号	F-362A-P-PP	F-362A-P-S-PP
40	スラリタンク組	9011500700081		1
101	フレーム	9063500700075		1
101	フレームPP	9011500700064	1	
102	フロントパネル吐出し組	9011500700090		1
102	吐出し管	9011500700014	1	
106	フランジDIN	9011657063001	2	
107	支持台組	9063500700008	1	
107	支持フレーム	9063500700076		1
108	車輪一式	9063500700006	2	
108	支持フレーム	9063500700086		1
109	移動用車輪	9012629100020	4	4
110	フレーム	9063500700087		1
111	モータ取付版	9011500700078		1
112	スラリタンク取付版	9011500700088		1
113	スラリタンク支持部材	9063500700089		1
117	T部吐出し+ドレン	9011500700063	1	1
118	入口ソケット+ユニオン	9011500700062	1	1
201A	フィルター取付版	9011500700304	1	1
201B	モーター取付版	9063500700301	1	1
202	シリンダー	9011500700010	1	1
203	底部リング	9063500700308	1	1
204	頂部リング	9063500700309	1	1
205	吐出し継手	9011700000105	1	1
206	入口継手	9011700000053	1	1
217	棒組	9063500900086	10	10
218	シール	9031402001007	1	1
219	十字ノブ	9011626012001	10	10
220	シール	9031402001005	1	1
221	PP/SSカバー蓋	9011500700065	1	1
224	アセンブリ圧力計組	9011500900094	1	1
225	圧力計ハウジング	9011500900007	1	1
226	圧力計メンブレン	9031500900304	1	1
227	圧力計カバー	9011500900075	1	1
228	SSゲージ0...2.5気圧	9063650000004	1	1
229	ドレン弁組	9011500900018	1	1
230	Oリング	90431236003	1	1
231	ピンジ組	9063500700066	1	1
232	ドレン弁Oリング	90431016350	1	1
234	圧力ハウジングOリング	90431220003	1	1
235	圧力計Oリング	90431005300	1	1
240	スベーサ/緩衝器	9011500700067	1	1
241	グリップ	9063500700068	1	1
305	シールリング	9031402001008	1	1
314	フィルター円盤	9011505605001	67	67
319	フィルター円盤頂部板	9011500700003	1	1
324	フィルター円盤支持板	9011500700306	1	1
327	ゴム底部板	9031403002001	1	1
328	フィルター円盤リフタ	9011600307001	11	11

4. はじめに

このたびは、ヘンダー社製品をお選びいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には全ての必須安全指示が記載されておりますので、本製品の最終使用者の手に渡るように留意してください。この取扱説明書は、製品の使用現場に置き、操作者や保守作業者が利用できるようにしてください。

5. 安全指示

注記

下記の標は注意喚起標識です。これらの標が製品または取扱説明書に記されている場合には、人身傷害の可能性にご注意下さい。

この標識は、注意事項を守らないと、感電の危険があることを警告します。

危険



この標識は、無視すると、重度の人身傷害または死亡あるいは大きな設備損壊を引き起こす可能性が高い要因について警告します。本製品は薬液を収容していることをご承知おください。

危険



この標識は、無視すると、重度の人身傷害または死亡あるいは大きな設備損壊を引き起こす可能性がある要因について警告します。

警告



この標識は、無視すると、軽度の人身傷害または設備損壊を引き起こす可能性が高いまたは可能性がある要因について警告します。

注意

注記という標識は、危険に関するものではないが重要で特別な指示を示唆しています。

この取扱説明書および製品ポンプに示された全ての安全指示をよく読んで遵守してください。

安全標識は良好な状態に保ってください。安全標識が消失または破損した場合には、新しいものと交換してください。

製品の受領時には、製品の番号(名札データをご覧下さい)を確認するとともに、配達もれの無いこと及び損傷が見あたらぬことを確かめください。これらの確認事項に問題が存在する場合には、文面に書き留め、できれば運送会社の署名を付けて、証拠としてください。

部品御注文の際には、チャンバー型式と通し番号を必ずお知らせ下さい。

7. フィルターチャンバーの設置 (1)



設置後に、フィルターチャンバーが規定の方法で接続されているかどうか点検してください。装置のご使用の際には、周囲の状況だけでなくご自身の安全と健康に常に

危険 考慮してください。

配管(ホースまたはパイプを使用)

フィルターチャンバーへの接続には、信頼性があり長寿命の(さらには耐圧性の)部材を用いてください。ホースの場合には、適正なホース締め具を使用してください。接続には適正なOリングを使用してください。始動の前に接続部の締め具合を点検してください。ホースやパイプの内部は、始動前には清浄でなければなりません。

熱可塑性樹脂性チャンバーについては、配管応力は許されません。配管が適正に位置合わせされ支持されていることを確認してください。



設置

- フィルターチャンバーの基礎部を、浴槽液面と同じ高さ又は少し高い位置に置く。

注意 清掃中、フィルターチャンバー内の液は、ドローフタップを介して浴槽へ戻すことができます。また、浴槽は、緊急事態の際に、フィルターチャンバーを介して浴槽を空にすることはできません。

- フィルターチャンバーが浴槽液面よりも下方に配置される場合には、フィルターチャンバーよりも下方の供給パイプ内のドレン弁タップに加えて出口パイプや供給パイプ内に止めコックを設置することが必要になります。

- フィルターチャンバーの取付の際には、フィルターパッケージの清掃や交換のためのアクセスを容易にする必要があることを考慮してください。

- 供給パイプと出口パイプの直径をポンプの容量に合わせて調節してください。

- ポンプの最大圧力は、圧力計が示す最大値を超えてはなりません。

- 浴槽移動を良好にするために、フィルターチャンバーの出口パイプは、浴槽内のポンプの吸込管からなるべく離して配置することを推奨します。

7. フィルターチャンバーの設置 (2)

- フィルターの運転を始める前に、フィルターパッケージ、フィルターチャンバー蓋、配管および各種の弁が全て適正に取り付けられていることを点検確認してください。

- モーターの始動後に、フィルターチャンバーの適正な空気抜きが必要です。(フィルターチャンバーに空気逃がしタップが備えられている場合には、空気逃がしタップのチューブを浴槽上方につるすことを推奨します。)

- 316 / 326シリーズのポンプについて、傾斜可能なフィルターチャンバー蓋は、運転条件に応じて、上部シリンダ締め具を回すことによってご希望の位置に置くことができます。

- 通常、フィルターチャンバーには車輪が備えられています。これらの車輪は、最終的な使用位置にて簡単に取り外すことができます。

3. 部品リスト #F-362A-P(S)-PP

ヘンダー社のフィルターチャンバー内の最大圧力は、1.6気圧を超えてはなりません。

2.5気圧までの高圧用のヘンダー社のフィルターチャンバーは、フィルターチャンバーの

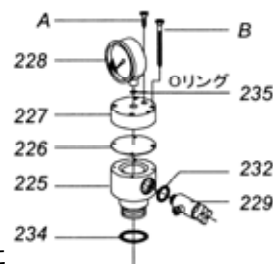
注意 底部を支持するステンレス性のベースプレートで識別できます(通常運転中は、フィルターチャンバーを定期的に点検してください)。

下記の事項を定期的に点検:

- 流量(圧力計の位置と比較する)
- チューブ、チューブ締め具、タップ、圧力計
- フィルターチャンバーのシールゴム

圧力計液の補充:

- 圧力計(228)を取り外す。
- 空気逃がしネジ(A)を取り外す。
- 圧力計ハウジング(227)に不凍液を補充する。
- 圧力計を組み付ける(リング235に注意)。
- このとき、Aのネジ穴から圧力計液が見えていなければなりません。その後、空気逃がしネジ(A)を圧力計ケーシングに付け戻して締める(空気が残留していないことを確認する)。
- ネジ穴から液が見えないときには、上記の操作手順を再び実行する。それでも液が見えるようにならない場合には、おそらくメンブレン(226)が損傷しているので、これを交換する。交換のためには、圧力計(228)を取り外し(リング235に注意)、4本のネジ(B)を緩めて外し、メンブレン(226)を交換する。その後、先の尖っていない物を圧力計ケーシング(227)内に差し込んでメンブレンを押さえながら、4本のネジを軽く締める。その後、4本のネジを締める(締めすぎないこと)。空気逃がしネジ(A)を取り外し、上記の手順によって圧力計液を補充する。



9. 異常の原因(フィルターチャンバー)

問題	考えられる原因:	
7.1	液流量が全く無い又は少なすぎる	01 - 02 - 03 - 06
7.2	フィルターチャンバー蓋からの漏れ	04 - 05
7.3	圧力計の表示が不正確	07 - 08 - 09
7.4	濾液の濁り	10 - 11 - 12 - 13 - 14 - 15 - 16
7.5	浴槽内で気泡が発生	17 - 18 - 20
7.6	浴槽内に空気	06 - 18 - 19 - 20
原因:		
01	フィルターエレメントが閉塞している。	
02	タップの操作位置が間違っている。	
03	ポンプが適正に機能していない(ポンプ取扱説明書を参照)。	
04	十字ボタンの締め方が適正でない。	
05	フィルターチャンバーのシールゴムが曲がっているか又は損傷している。	
06	フィルターチャンバーの空気抜きが不十分。	
07	圧力計が故障している。	
08	圧力計下方のチャンバ-内の液(不凍液)が全く無い又は少なすぎる。	
09	圧力計のダイヤフラムが曲がっている。	
10	フィルターエレメントの組み付けが正しくない。	
11	フィルターエレメントに不備がある(濾過されていない液を流出させてしまう通路ができている)。	
12	濾材の品質が悪い。	
13	濾材の寸法異常。	
14	選択した濾材の目が粗すぎる。	
15	濾材が破れているか又は損傷している。	
16	液にコロイド状物質が含まれている。	
17	カートリッジを洗浄せずに継続使用しており、カートリッジに湿潤剤が残留している。	
18	吸込管に空気漏れが生じている。	
19	戻り管が浴槽液面の上に位置している(液が流れ落ちる)。	
20	供給パイプが、液に空気を吹き込む位置に近すぎる。	

10. フィルターの分解、清掃 / 交換および再組立

ポンプの型式によって異なりますが、フィルターは1～2気圧の最大差圧で清掃する必要があります。

- ポンプのスイッチを切る。
- **メインのタップをオフにする。**
- ドレン弁を開ける。
- 空気逃がしタップを開ける(底部吐出しの場合)か、又は空気逃がし栓をあける(頂部吐出しの場合)。
- 十字ボタンを緩める(手でフィルターチャンバー蓋を緩める#11...22)。
- フィルターチャンバ蓋を取り外す(又は注意して開ける - > #362)。

11...22シリーズの場合(シングルカートリッジフィルターハウジング)

- カートリッジ上のボタンを緩める。
- カートリッジを取り外す。
- カートリッジを清掃または交換して元の位置に戻す。
- カートリッジ棒のボタンを軽く締める。

31A / 32A / 71A / 72A / 151A / 152Aシリーズの場合

シリンダー締付けストリップの垂直ストリップの穴にネジ回しを入れ、ネジ回しを押し下げることによって、カバー板を簡単に緩めることができます。

フィルターカートリッジ

- カートリッジ上のボタンを緩める。
- カートリッジを取り外す。
- カートリッジを清掃または交換して元の位置に戻す。
- カートリッジ棒のボタンを軽く締める。

濾紙

- フィルター板パッケージをフィルターチャンバーから中央ボタンを使って持ち上げる(2個のOリングとともにチャンバーの基部に押し込まれているだけである)。
- 供給された合成ハーフリング上にフィルターパッケージを置く。
- その結果、2個のOリングを備えるフィルターパッケージの基部は、2～3回ほど回すことによって簡単に取り外すことができる。
- そして、フィルター板および濾紙を一つずつ取り外すことができる。
- 新しい濾紙に交換したパッケージを上記とは逆の手順で組み立てる(必ず、手でしっかりと押し、2個のOリングがフィルターチャンバーの基部に適正に固定されるように注意する)。

10. フィルターチャンバーの分解組立 #F7A - B1 /

複数のスイングボルトを対角線状に緩めていくことによってフィルターチャンバーを開ける。シリンダー締付けストリップの垂直ストリップの穴にネジ回しを入れ、ネジ回しを押し下げることによって、カバー板を簡単に緩めることができます。

まず、PPフィルターバスケットをフィルターチャンバーから取り出す。



次に、PPフィルターバッグをゴムシールリングとともに挿入する。

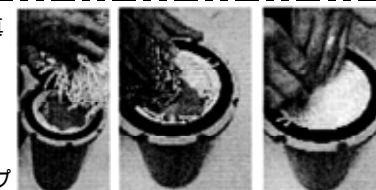


ゴムシールリングが、PPフィルターバッグの周囲に適正に固定され、PPバスケット内に十分に挿入されていることを確認する。(青色迷路2×は、錫濾過(SN4+)にのみ使用する)。



フィルターバッグは、PPバスケット内に完全に押し込まなければなりません。

PPファイバー(油 / 錫吸収)を使用する場合には、写真に示すように、ファイバーをフィルターバッグ内に押し込む(最大で1つのバッグにつき800gr)。



錫濾過では、フィルターバッグとPPバスケットとの間にプラスチック迷路(2×)を追加して使用するとよいでしょう。

活性炭濾過では、エンドフィルターとしてPPフィルターバッグを使用し、炭素顆粒を挿入するために活性炭バッグを追加して使用する。



十字ノブを対角線状に締めていくことによってフィルターチャンバーを閉じる。



10. フィルター (# F - 362) の分解、清掃 / 交換および再組立

326シリーズのフィルターチャンバーを開けるとき

- ポンプのスイッチを切る。
 - 複数のメインのタップをオフ位置へ回す。
- 警告**
- ドレン弁を開ける。
 - 頂部の空気逃がしを開ける。
 - 10個の(スイングアウェー型)十字ノブを緩める。
 - 残りの2個の十字ノブを時計回りに回して締める。これによって、反対側の頂部が少し上がり(その結果、EPDMシリンドーガスケットの固着がはずれます。)
 - 次に、これらの2個のノブを反時計回りに4回転して途中まで緩める。
 - これで、グリップをつかんで蓋を持ち上げて傾斜姿勢にすることが簡単にできる。

フィルターカートリッジ

- カートリッジ上のボタンを緩める。
- カートリッジを取り外す。
- カートリッジを清掃または交換して、元の位置に戻す。
- カートリッジ棒のボタンを軽く締める。

濾紙

- 上側圧力板を取り外す。
- フィルタープレートの中心のレバーを使うことで、6個のフィルタープレートを一度に衛生的に取り外すことができます。清掃の間、このレバーは組み付けられた状態のままにしておき、底部のゴムプレートはフィルターチャンバー内にとどめておきます。
- これらのフィルタープレートを清掃して、新しい濾紙を取り付ける。
- フィルタープレートのパッケージを6個のフィルタープレートの位置に戻す。
- 頂部圧力板を、取付縁を下に向けた状態で、上側フィルタープレート上に置く。

326シリーズのフィルターチャンバーを閉じるとき

- 蓋内のシリンドーシールゴムにゆがみがないか点検する。
- フィルターチャンバー蓋を傾けて閉じる。
- 先ず、傾斜機構付の2つの十字ノブを締める。
- 次に、残りの十字ノブを対角線状に締めていく。
- 最後に、傾斜機構の2つのボタンをもう一度締める。
- 空気逃がしタップをオフにする。
- ドレン弁タップをオフにする。
- 複数のメインのタップを開ける。
- ポンプのスイッチを入れる。
- フィルターチャンバーの空気抜きを適正に行う。

注意 - 使用後の濾材を当該の環境規制に従って処理・運送する。

11. EEC宣言

11. 機械に関する規定準拠のEEC宣言
(指令89/392/EEC、Annex II、sub A)

製造者: ヘンダーポンペン株式会社(hendor pompen b.v.)
住所: P.O Box 9, 5530 AA Bladel (NL(オランダ))
Leemskuilen 15, 5531 NK Bladel (NL(オランダ))
(www.hendor.com Email: info@hendor.com)

圧力器具の説明の一覧表に指定した製品は下記の事項を満たしていることをここに宣言する:

- 圧力器具指令97/23/EECの規定に適合していること。
- モジュールAに準拠した適合性評価手順に従った。



ブラデル(Bladel)にて確認

テクニカルディレクター H.F.G. ボーン